

参考資料 経営シミュレーション

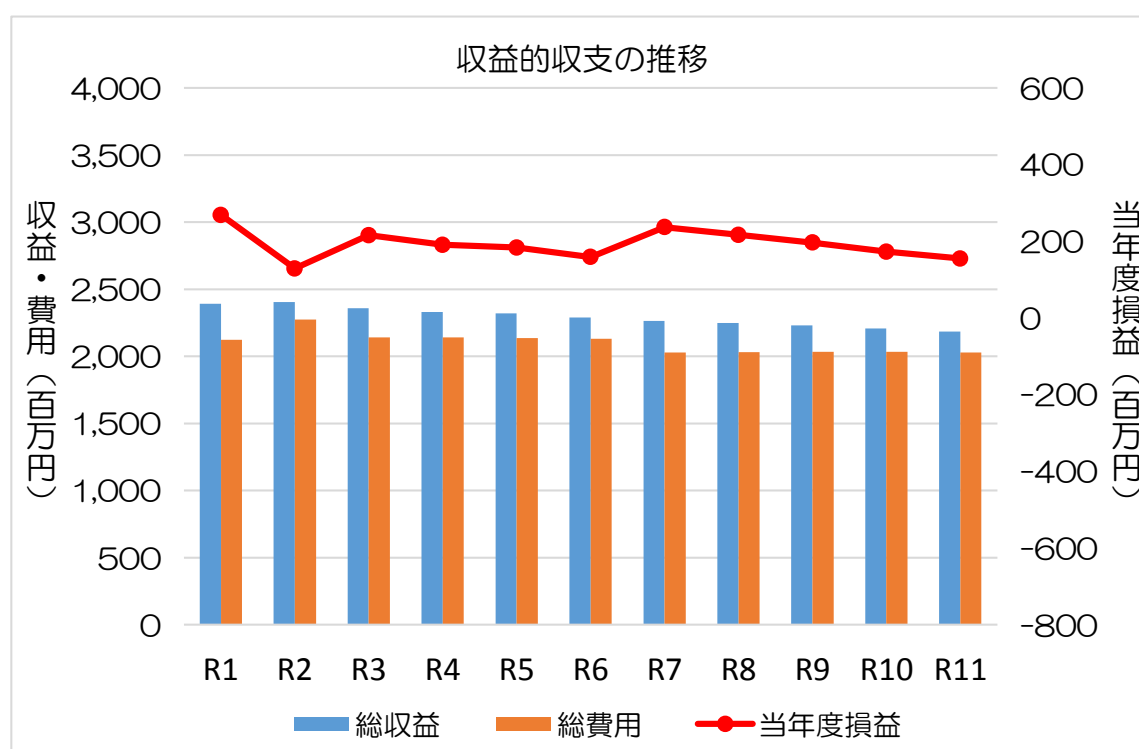
今後の10年間の収益的収支及び資本的収支について、シミュレーションを行った結果は、次のとおりです。

◆収益的収支の推計

収益的収入（収益）は、人口の減少等による給水量の減少により、料金収入は令和11年度には、令和元年度決算見込みより約9%減少する見通しです。

一方、収益的支出（費用）は、給水量の減少による受水費の減少、施設の更新整備による減価償却費の増加、資産整理による撤去費を見込みます。

この結果、収益的収支（単年度損益）は、料金収入が減少することが想定されますが、資産整理に係る撤去費を除く費用は、概ね横ばいで推移することから、計画期間において単年度損益は、黒字を維持する見通しです。

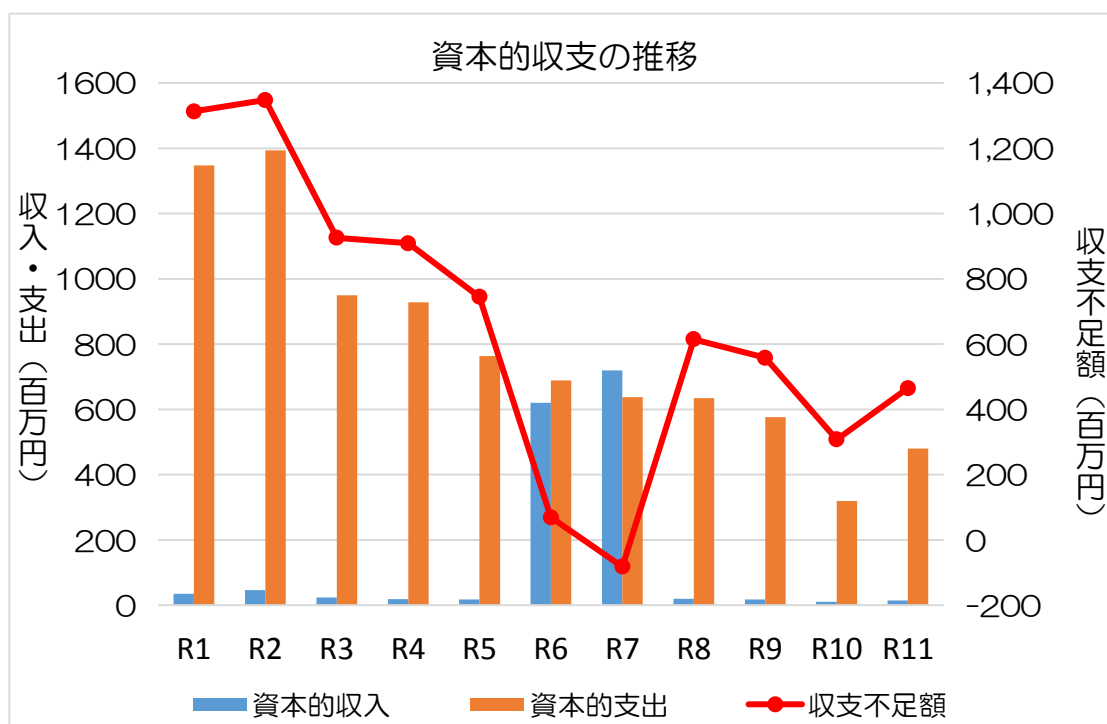


◆資本的収支の推計

資本的収入は、水道施設の更新事業の財源であり、内容としては、主に工事負担金等の外部資金です。

一方、資本的支出は、水道施設の更新事業のほか、組織統合している下水道事業に資金貸付（期間5年）を予定します。

この結果、資本的収支は、収支不足額が発生しますが、内部留保資金（損益勘定留保資金、未処分利益剰余金等）で対応を予定します。



(単位: 百万元)

項目・年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収益的収入	2,392	2,404	2,358	2,332	2,320	2,291	2,265	2,248	2,230	2,208	2,185
うち料金収入	2,035	2,034	1,999	1,976	1,966	1,938	1,916	1,901	1,885	1,866	1,845
うち長期前受金戻入	306	306	306	303	301	299	295	293	291	289	286
収益的支出	2,123	2,275	2,142	2,141	2,136	2,132	2,028	2,031	2,033	2,035	2,030
うち受水費	894	872	862	852	847	835	826	820	813	804	795
うち減価償却費	624	637	652	662	661	669	674	682	691	699	702
収益的収支	269	129	216	191	184	159	237	217	197	173	155
未処分利益剰余金	2,609	2,328	2,046	1,766	1,629	1,788	2,025	2,242	2,438	2,611	2,766
資本的収入	35	46	24	19	18	620	720	20	18	11	15
資本的支出	1,348	1,394	950	928	763	689	638	635	576	319	480
資本的収支	△ 1,313	△ 1,348	△ 926	△ 909	△ 745	△ 69	82	△ 615	△ 558	△ 308	△ 465
資金残高	4,058	3,180	2,817	2,459	2,259	2,719	3,417	3,408	3,446	3,723	3,829

※ 令和元年度は、決算見込値

※ 阿保浄水場配水池の耐震化整備費は、耐震化調査等により最適手法を検討するため、計画期間には未計上